

尊重し合う社会をつくるために

～デートDVの理解から～

高等学校・1～2年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

ロールプレイや話し合い活動を通して、お互いを尊重することの重要性を認識し、他者と連携・連帯し積極的に社会に参加・参画していけるようにする。

◇関連する個別の人権課題「女性」

2 関連する教科等について

○ホームルーム活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ 男女相互の理解と協力）

3 人権教育上の視点

（1） よりよい社会、集団の形成に向けて、主体的に参加・参画しようとする
ことができる。（価値・態度）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

ペアでロールプレイを行い、感想を発表する。

○活動2

ロールプレイを行った内容に関する課題について考え、発表する。

○活動3

活動2で考えた課題にどのように対応するべきかを考え、発表する。

○活動4

本時の学習を通して感じたことや考えたことをまとめる。

2 準備するもの

- ワークシート

3 アクティビティの進め方

- 活動1 「ロールプレイ①」
 - ① ペアでワークシートの課題1のロールプレイを行う。
 - ② 感想を話し合い、全体発表で共有する。
- 活動2 「ロールプレイ②」
 - ① ペアでワークシートの課題2のロールプレイを行う。
 - ② 感想を話し合い、全体発表で共有する。
- 活動3 「ロールプレイのまとめ」
 - ① 課題2の会話文の問題点を探す。
 - ② 課題2のA・Bの発言について、感想を発表する。
- 活動4 「ペアでの話し合い」
 - ① ペアで課題2の会話の望ましいあり方を考える。
 - ② 全体発表で共有する。
- 活動5 「振り返り」
 - ① 振り返りを通して、普段のお互いを尊重した言動について考える。

4 アクティビティを指導する際のポイント

- お互いを尊重する言動を心がけることは、よりよい社会や集団づくりへ主体的に参加・参画することにつながることを、学習者が実感することができるテーマである。そうした趣旨に沿う生徒の発言等を積極的に取り上げ、称賛することが大切である。
- デートDVを例として扱うが、デートDVの学習にとどまらず、人権感覚育成のための視点である「参加・参画」にせまる学習となることを意識する。
- ロールプレイがおもしろ半分に終わらないように、教師がねらいをしっかりとつとともに、生徒にそのことを明確に伝える。
- ロールプレイ終了後は、お互いに「〇〇さん、A（またはB）の役は終わりました。ありがとう」と、必ず生徒の名前を呼ばせ、役割が終了したことを伝え合うようにさせる。このことにより、役割と本人とをしっかりと切り離すことが大切である。
- 児童虐待など様々な人権問題には、相手を尊重せずに一方的に力で支配しようとする共通した考え方があることを押さえておく。

III 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
15分	<p>1 学習内容 (手順) の確認</p> <p>2 ロールプレイ① T あなたが普段目玉焼きにかける調味料名を【 】に、ペアの人がかける調味料名を () に書き、会話文をA・Bの役割を交代しながら演じましょう。 T A・Bそれぞれの立場を演じてみての感想をペアで話し合い、発表しましょう。 S Bの立場になると、とても嫌な気持ちでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布し、本時の学習内容について説明する。 最初に注意事項を読み上げることで、ペアワークが円滑に進むようにする。 発表内容について「そうだね」や「同じ意見の人はいるかな」といった肯定的な受け止め方の例を示すことで、今後の活動において、意見を出しやすい雰囲気をつくる。
30分	<p>3 ロールプレイ② T 付き合っている恋人同士という設定のもとに、会話文をA・Bの役割を交代しながら演じましょう。 T A・B両方の立場を演じた感想をペアで話し合い、発表しましょう。 S Aの立場になると相手を支配しているような気持ちになる。</p> <p>4 ロールプレイの主張のまとめと感想発表 T 課題1のAの主張のまとめを参考に、課題2のAの主張をまとめ、ワークシートに記入しましょう。 S 「恋人同士なら、『部活動』よりも『デート』を優先すべきだ。」 T 課題2のA・Bの発言について、どのような感想をもったのか発表しましょう。 S Aは自分のことしか考えていない。 S Bはもっと自分の意見を強く言うべきだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 異性間、同性間どちらの場合もありうることを説明し、性別に関係なくペアを作るように指示する。 役割演技は終わったことを伝えることで、今後の活動で会話文について客観的に考えることができるようにする。 課題2のAの主張をまとめさせることで、相手の考え方や立場を認めず、相手を思い通りに支配しようとしていることに気付かせる。 AだけでなくBの発言についても考えさせることで、課題5につなげる。 Aの言動が、Bの部活動への取組を妨げていることを説明することで、お互いを尊重しない関係は、物事に意欲的に取り組むことを妨げていることに気付かせる。

	<p>S 自分も、友達に自分の都合を押し付けてしまうことがあったかも。</p> <p>T 課題2のAからBへの行為を一般的に何というか知っていますか。</p> <p>T デートDVと言います。ワークシートに要点をまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デートDVについての説明をすることで、課題2のA・Bは「デートDV」の関係であることを理解させる。
	<p>※ デートDVについての説明例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恋人間で暴力により、相手を思い通りに支配することをデートDVと言います。暴力には、殴る・蹴るなどのほか、言葉の暴力、メールをチェックするなど様々な形があります。 お互いが尊重された対等な関係では、デートDVは起こりません。 課題2のA・BもデートDVの関係になります。 	
	<p>5 話し合い</p> <p>T 課題2をどのように直すとお互いを尊重した会話文になるでしょうか。ペアで考えてワークシートに記入し、発表しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【例】</p> <p>A：今日学校が終わったら行きたいところがあるんだ。付き合ってよ。</p> <p>B：無理だよ。今日は部活があるから。</p> <p>A：部活か。出ないとまずいの？</p> <p>B：今、部活に燃えているから練習したいんだ。</p> <p>A：そうか。じゃあまたにしよう。</p> <p>B：ごめんね。部活が休みの日はつきあうから。</p> <p>A：ありがとう。部活がんばれよ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで話し合った結果を全体で共有させることで、お互いを尊重した会話文とはどのような会話なのかを考えさせる。 ・A・B両方の考えや立場が尊重されている会話文を作ることができるように、机間指導を行い、適切な声掛けを行う。
<p>5分</p>	<p>6 振り返り</p> <p>T 今日の授業を通して感じたことや考えたことを発表しましょう。</p> <p>S 思ったことをすぐに口に出すのではなく、考えてから話すことが大切だと感じた。</p> <p>S 自分も、普段から相手の考え方や立場を尊重した言動を心がけたい。</p>	<p>◎普段からお互いを尊重する言動が大切であることを理解させるために、ねらいに沿った感想を取り上げ、称賛する。(価値・態度)</p>

IV 資料

(1) ワークシート

氏名 ()

□ 課題1 何をかけるの？

○ 次の会話文をA、Bの役割を交代しながら演じてみましょう。

〔注意〕

- ・ () には相手が、【 】には自分が普段目玉焼きにかけている調味料名を入れる。
- ・ 調味料が同じ場合は、Bの役割をする人が別の調味料名に変えて行う。
- ・ 役割演技が終わったら、お互いに「○○さん、A (B) の役は終わりました。ありがとう」と言う。

A : 目玉焼きに () をかけるの？

B : そうだよ。

A : ふつう【 】だろ！

B : () もおいしいよ。

A : いや、みんな【 】だよ！

B : そうなんだあ……。

A : おいしそうには思えないよ！ ありえないよ！

□ 課題2 デートの誘い

○ 次の会話文をA、Bの役割を交代しながら演じてみましょう。

〔注意〕

- ・ 役割演技が終わったら、お互いに「○○さん、A (B) の役は終わりました。ありがとう」と言う。

A : 今日学校が終わったら行きたいところがあるんだ。付き合ってよ。

B : 無理だよ。今日は部活があるから。

A : えー。部活さぼればいいじゃないか。何だよそれ。

B : 部活は頑張りたいてっていったじゃない。

チームの人にも迷惑かかるし、さぼれないよ。

A : はあー？ 何それ。部活とデートとどっちが大事なの？

B : そんな言い方って。

A : 練習したって無駄だよ。

付き合ってるんだから誘ったら断るなよ。

B : (困りきった様子で) わかったよ。今日は部活行かないよ。

□ 課題3 …すべき？

- 参考にならって（ ）に適切な語句をおぎない、課題2のAの主張をまとめてみましょう。

〔参考：課題1・Aの主張のまとめ〕

・目玉焼きにかける調味料は、【 】であるべきだ。

〔課題2・Aの主張のまとめ〕

・恋人同士なら、（ ）よりも（ ）を優先すべきだ。

□ 課題4 デートDVとは？

恋人間で（ ）により、相手を思い通りに（ ）することをデートDVといいます。

暴力には、殴る・蹴るなどのほか、（ ）の暴力、（ ）をチェックするなど様々な形があります。

お互いが（ ）された対等な関係ではデートDVは起こりません。

□ 課題5 こんな会話ならいいな

- 課題2を、お互いを尊重した会話文になるように直してみましょう。

A：今日学校が終わったら行きたいところがあるんだ、付き合ってよ。

B：無理だよ。今日は部活があるから。

A：

B：

A：

B：

A：

※A・Bの会話は続くところまででよいです。

V 出典・参考資料

- 「デートDV防止啓発ハンドブック」（平成25年3月）
埼玉県・埼玉県教育委員会